



未来

～予想・夢・希望
～

チョコレート

この本では未来の社会を予想、また未来の社会がこうであって欲しいという事を述べていきます。独りでは限界がありみなさんのご協力が必要です。もし何か知恵やアイデア等があれば、コメントに書いて頂ければ、吟味後本書に追加していきたいと思います。本書では10年～100年と幅広い予想を行う予定です。

また未来の社会と一口で言ってもかなり幅がありますが、本書では特に制限なくなんでも扱う予定です。希望、未来がテーマなだけに読み終えたあと、「そんなの絶対できないよ！」や「無理無理！」と感じるかもしれませんが、50年100年と月日が続いているうちに変わると私は信じております。今から50年前といえは1960年頃、みなさんが今使っているパソコンなんて一般に普及していなかったんです。そう考えると50年、100年未来には「物凄いことが待っている」と私は思っております。読者のみなさんも温かい目、心でお読み下さい。

夢のある作品になればと思っております。

※なお本書は将来的に有料にする可能性もあります

まず始めに家電・ハイテク製品編です。ここでは未来の家電やハイテク製品について述べていきます。

10年後 電子書籍がより普及し、本が無料になっている

まず最も予想しやすい10年後についてです。このサイトを利用しているということは電子書籍に多かれ少なかれ関心がある方かと思います。10年もすれば電子書籍が普及し、携帯電話のように一人一台は電子書籍端末を持っている時代が来るだろうと思われる方も多いかと思います。またアメリカで実際に起こっているように、電子書籍になれば本が安くなると考えている方も多いかと思います。しかし紙の本がなくなる事はないというのも今や定説になっていると思います。

ここまでならば普通の予想ですが、私は電子書籍がさらに飛躍し、本が無料になっていると予想します。(決して違法なダウンロードや海賊版の話ではありません。もちろんこれらも蔓延る可能性もあると思いますが、そうなのは欲しくないですね。)「本が無料??著者はどうするんだ」と普通はと思いますが、大丈夫です。広告です。常に本の下側に広告を出したり、10ページごとに広告がある本等様々な形態の本が出てくると私は予想しています。広告により収入も確保できます。しかも書籍の広告の価値は高いと思います。なぜなら書籍を購入する人というのはその書籍に関する内容に相当な関心を持っているため、その内容に関連した広告を出せば製品は売れる確率が高いと思うからです。これにより著者の収益も確保できます。

もちろん今まで通りのような「有料だが広告等は何も無い本」も残るだろうと思います。パソコンで考えてみれば、フリーソフトもあれば有料のソフトやシェアソフトもあります。本もこのようになっていっても不思議ではない。消費者側からすれば選択肢が増えるというのはとても良いことです。

誰かプロの方、始めないですかね。

20年後、スマート家電が普及している

2010年、スマートフォンブームがついに日本にもやってきました。機械オタクでもない普通の人がスマートフォンを持つ時代です。スマートフォンの普及が終われば、次はスマート家電がやってくるというのは当然の流れだと思います。ここで言うスマート家電とはスマートフォンやパソコンと連携して使えるような家電です。今でも既に一部製品では製品化されている物もあるかと思います。

例えばスマートエアコン。外出先から帰宅30分前、家のエアコンのスイッチをスマートフォンから入れることが可能ならば、家に入った瞬間に涼しいもしくは暖かいといったことが実現できるとかと思います。

他にはスマートテレビ。これはグーグルテレビ等で今話題になっているので、20年も経たずにかなり近い内に販売されるのではないかと思います。テレビでネットが閲覧できたり、パソコンやスマートフォンと連携して写真なんか見れると家族で楽しめていいですね。さらに録画した番組を自由自在に移せたり、パソコンのモニターがいなくなる将来がくるかもしれません。

いくらでも例を挙げられるぐらい可能性を感じます。このように全ての家電がスマートになり、パソコンやスマートフォンを中心として連携をとれるとかなり便利な社会になっていきますね。予想を20年後にしたのは、家電の買い換えサイクルはだいたい10年ぐらいかと思います。そのため発売が10年後、ある程度普及するにはさらに10年、合計で20年ぐらい必要ではないかと考えました。

20年後 指輪でお買い物から電車に乗ることまでできるだろう

現在電車に乗るときにICカードを使っている人は多いでしょう。また買い物の時に電子マネーやお財布ケータイを使う方も増えてきていると感じております。私は最近ふと思ったのですが、電車のICカードはあんなに大きくなくてもいいじゃないかと。実際読み取り部分というか反応する部分は本当に僅かな部分です。それならば指輪にそのチップを埋め込み、まるで指でタッチして電車の改札を通っているかのようにすることができるのではないかと考えました。なんてスタイリッシュなんでしょう。

また相互利用がさらに進み電子マネーもある程度いくつかに統一化されていくはずです。お店側もどんどん電子マネーに対応し、使える場所はさらに増えるでしょう。こうなれば手ぶらで指輪さえつけていけば何でも買える時代がくるかもしれません。いやそうなって欲しい。

10年後 一人一台タブレット端末を持っている

タブレット端末とはiPad等のことを指します。他にもWindowsを搭載した製品やAndroidを搭載した製品が現在販売されているかと思います。私は一台所持していますが、今のところ普及とは決して言えない程度であるかと思います。それはまだまだハード、ソフト共に充実していないことが主な原因だと考えられます。さらにタブレットとは何なのかということも周知されていない事も原因だと考えられます。ご老人から若い方まで徹底的に「タブレットで何ができるのか」ということを周知すれば必ず流行るはずです。

ソフト面もまだまだスマートフォン向けのアプリが多く、タブレット向けは少なく感じます。このあたりも充実させていくことが今後の発展の鍵ですね。

50年後 農地にはフードタワーが出現しているだろう

食料危機がここ最近問題になりつつありますが、50年後はかなり深刻になっているでしょう。では危機をどう解決するのか。私はフードタワーしかないと思います。フードタワーとは例えば地上40階建て、全てが農地のタワーのことです。もちろん土で栽培するのではなく栄養水に浸し栽培する方法です。この栽培法は現在も実現されています。これを40階建てにすると単純に生産能力が40倍になります。莫大な建設費が必要になると思いますが、食料がなくなっては金がいくらあっても意味が無いのでその辺りの兼ね合いで、50年後にはフードタワーが出現していると思います。

また空間を少しでも利用するという観点から言えば、都心のビル群に橋を渡し、そこで食料を栽培するという方法も良いと思います。相当な量の橋が掛けられるはずです。

これらで日本の食糧危機は楽々解決です。

続いて社会編です。ここからは未来の社会の仕組みについて述べていきます。社会の仕組みで今現在悪いところはたくさんあると思います。ここがこうなればという部分を中心に書いていきたいと思っています。